

コンクリート面及び押出成形セメント板面

7章7節:アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) ビルデックグリーン(微臭仕様)

公共仕様No.
DNT-改修・7-4-04

使用材料一覧表

規格 一般名称		商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1	JIS K 5670 アクリル樹脂系非水分散形塗料	ビルデックグリーン	F☆☆☆☆	ビルデックグリーンシンナー

塗装仕様

表7.2.6 コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整【RB種】

工程		塗料その他			面の処理
		規格番号	規格名称	種類	
1	既存塗膜の除去	—			ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化しぜい弱な部分を除去する。
2	汚れ、付着物除去	—			素地を傷付けないようにワイヤブラシ等により、除去する。
3	ひび割れ部の補修	—			特記による。
4	下地調整塗り	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1又はC-2	既存の塗膜の除去部分の不陸を調整する。
		JIS K 5669	合成樹脂エマルションパテ	耐水形	
5	吸込止め	JASS 18 M-201	反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー	—	全面に塗り付ける。

(注) 1.押出成形セメント板面の場合は、工程4を省略する。
2.工程5のシーラー及び工程6のパテの塗料は、上塗り塗料製造所の指定するものとする。
3.新規に塗装を行う場合は、RA種(ただし、新規材料面に耐候性塗料塗り以外の塗装を行う場合はRB種)とし、工程1に代えて素地を十分に乾燥させて、工程3を省略する。
4.JASS 18 M-201は、日本建築学会材料規格である。
5.屋内で現場塗装する場合、工程5の吸込止めのパテしごきに使用する材料は、上塗り塗料製造所の指定する水性塗料とする。

表7.7.1 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り【B種】

工程		商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 (kg/㎡/回)	塗装間隔 (20℃)
1	下塗り	ビルデック グリーン	各色	—	5～10	刷毛 ローラー	0.10	2時間以上
					20～30	スプレー		
2	上塗り	ビルデック グリーン	各色	—	5～10	刷毛 ローラー	0.10	—
					20～30	スプレー		

(注) 1.下地調整の種類は、塗料その他の欄による。
2.モルタル面の下地調整は、表7.2.4によるRB種とする。
3.コンクリート面の下地調整は、表7.2.5によるRB種とする。
4.押出成形セメント板面の下地調整は、表7.2.6によるRB種とする。

7.2.6 コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整

コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整は表7.2.6による。
ただし、種別は、塗り工法に応じた節の規定による。

7.7.2 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り

アクリル樹脂系非水分散形塗料塗りは表7.7.1により、種別は特記による。特記がなければ、B種とする。

注意事項

* 上記塗付け量は国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版に掲載されている数値です。
そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。

* 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。